

2015年度 第5回 研究倫理委員会 議事録

(文中敬称略)

日 時：8月5日(水) 午後5時15分～午後6時45分

会 場：3号館2階 カンファレンスルーム

出席者：安倍基幸(OB)、大浦智子、太田 進、岸 貴介、武田洋平(外部委員)、田中英子
中島英司(外部委員)、西村知晃、室町律雄、渡邊和子 (五十音順)

欠席者：室 敬之

審議事項

1) 研究倫理審査1件

大古拓史(助手)：高齢者における日常生活動作の動作介入が身体機能に及ぼす影響の検討

◇審議結果：一部修正を求め承認する。

2) 次年度のリハ学部の卒業研究への対応について

論点を以下3点とし、来年度の対応について委員会の中で共通理解を得た。

①全員対象とするか …文献研究の扱いはリハ学部の所掌事項。提出があれば審査する。

②院生や教員とは審査の実態が異なるという言わば「二重基準」の問題をどうするか

…院生や教員とは別の審査番号・書類を用いているが、審査は複数の委員による迅速審査で確認後、全委員の承認を得ることを原則としているので、その点問題はない。

③承認後に為される変更への対応が決まっていないが、どうするか

…変更を委員長および事務に届け出る。変更内容によっては、委員長は他委員と協議の上対応する。

3) 外部研究者関係の承諾書について(「外部の研究参加者がいる場合は、それぞれの所属機関長の承諾を受ける事とする」との規定が存在するかどうか)

…規定は存在しない。一律とはせず、原則としては、所属機関長の承諾は求めない。

4) 研究計画届出書について

人を対象とした研究で本学施設を使用しないものに本学教員等が研究分担者として参加する場合、現在の本学の規程類に従えば、届け出が求められているとも判断できる。他方、公の指針の中には、迅速審査を求めていると判断できるものもある。ただし、この点については情報の精査も必要であるため、また、本学規程類の改訂も関係してくるので、継続審議とする。

5) 動物慰霊祭の時期について

実施は11月(昼休み時間)を予定。

報告事項

- 1) 規程類の改訂等：改定案一部変更
- 2) 新規の許可証発行 3 件：大浦智子、相本啓太（院生）、齋藤貴之
- 3) 「卒業研究概要一覧」の書式を一部改訂：リハ学部卒業ゼミ担当教員に送付した
- 4) リハ学部卒業研究倫理審査：15OT21～23 を新規受付（PT は 15PT06 まで受付済）
- 5) 申請書類の一部改訂（「変更」の追加）と学内サイトへの掲載。大学 HP 内に英語表記の挿入と議事録、新委員を掲載。
- 6) CITI の e ラーニングの修了証発行 20 件：倫理 2015001～20 までを発行済（新規 20 件）
なお、CITI の e ラーニング実施時期と科研費との関係について、スケジュールは以下のとおり（情報：2014 年 9 月セミナー現在）。
 - ・平成 28 年度は科研費交付時（平成 28 年の 6 月）までに終了する。
 - ・平成 29 年度の科研費申請時（平成 28 年 10 月）までに終了する。
- 7) 動物実験施設外部検証の進捗状況：
前回時点では秋頃を予定していたが、1 月～2 月の実施で交渉する。

次回開催予定：9 月 2 日（水）17 時（院生の研究倫理審査は 18 時）～